

諺から見る日本人とインドネシア人の友情観、愛情観、結婚観

グナワン・アンディ

はじめに

どの国、どの民族においても、人間はこの短い人生の間に色々な経験を積み、そして多くの人々が同じような経験をする。そのような経験は人間の歴史の発展とともに、多くの人々に共通する認識として定着し、諺の形で次から次へと伝えられてきたことが多い。だから、諺の表現から、その表現を使用する民族集団の文化的特色を見て取ることができる。そして、諺は長い間にわたって多くの人々の生活経験の積み重ねから生まれた人生の知恵とも言える。諺は元々各民族の人々の経験、民族の歴史、地理環境、生産活動および人々の生活習慣、思考の方式などによって作り出されたものであり、その民族の特性、文化の特色が諺に反映される。人間は社会的な生物だから一人で暮らすということができない。しかし、この社会的な生活のなかで、人間は、お互い接触したり、関係を作ったり、ある時は、お互い摩擦したり、誤解することも多い。それ故、人間は生活の中で、「愛」、「憎」、「情」、「仇」、「恩」、「義理」、「利益」から離れられない。

筆者は日本とインドネシアの諺について、その表現及び内容の面から対照比較分析し、日本とインドネシアの文化の比較、日本人とインドネシア人の特性の比較を試みるが、特に、人間の愛情、友情に関する諺を分析し、日本人とインドネシア人の友情観、愛情観、結婚観の特色を探究していく。

1、諺の分析資料と分析方法

1、1 諺の分析資料

本稿では、日本の諺は、金子武雄（1983）に収録されている諺 1585 個と、インドネシアの諺は M.Syamsul Hidayat,S.Pd.（2004）に収録されている諺 1500 個を基本的な諺と考えて、対照比較考察の資料母体として対照比較を試みるが、必要に応じ、さらに、石田博（1975）、及び、インターネットで探した資料も参考にする。

1、2 諺の対照比較方法

- （1） まず、両国の諺の定義を探す。それに諺と友情観、愛情観、結婚観どうな関係を持っているかを考察する。
- （2） 両国の諺の中で人間の友情観、愛情観と結婚観に関する諺を選び出して分析し、お互い対照してみる。そして、それぞれの諺がどのように使用されているか、類似点と相違点を考察する。

(3) また、両国の諺の中で人間の友情観、愛情観、結婚観に関する諺の数量も比較し、分析してみる。

(4) さらに、そのような類似点と相違点を生み出すそれぞれの国民性、文化、民族の歴史、風俗、生活習慣及び思考の方法の類似点と相違点についても考察する。

2、諺について

2、1 日本の諺の定義

日本語の諺の定義については、石田博（1975）によれば、「諺は、遠い昔の人たちから語り伝えられ、書き止められた、いわば人生経験の貴い宝庫であります。そこには時と所とを超越して光彩を失わない、人間の叡智と生活の指針とが説き示されて蔵されているのであります」¹としている。これについて、金子武雄（1983）は次のように説明している。

諺は・・・民衆の実生活の体験によって得られた、民衆自身の素朴で端的な口承の評判文芸であり、そうして、人間論・人生論の原初的あるいは基本的なものであると考えている。²

すなわち、諺は代よに民衆が実際の生活体験から作り出した知恵と教訓である。

2、2 インドネシアの諺の定義

インドネシアの諺の定義については、M.Syamsul Hidayat,S.Pd. (2004)によれば、「諺は世間に広く言い習わされてきた言葉であり、簡潔に対句的及び比喩的な方法で、警戒、教訓、風刺、経験、文化や知識を伝えるものであると定義がある」³としている。M.Syamsul Hidayat,S.Pd. (2004)によればインドネシアの諺は文章の表面的意味が違っていても大丈夫であるが、本当の意味を保たなければいけない。

2、3 諺と友情観、愛情観、結婚観の関わり

インドネシアと日本両国の諺の共通点に関する先行研究の知見をまとめると、次のようになる。

① 諺は民衆により作り出され、代よに伝承されてきた経験や知恵や教訓などを伝えるものである。

② 諺の内容はその民族の歴史、風俗、文化と深く関わっているものが多い。

以上のように、インドネシアと日本両国において、諺に関する見解には共通点が多く存在している。諺は、その民族の歴史や風俗、文化と深く関わっているものが多いため、両国の諺から両国の人々が人間と人間の関係について、どのように考えているか、人間は生活の中で、「愛」、「憎」、「情」、「仇」、「恩」、「義理」、「利益」をどのように

とらえているかを知ることができる、すなわち、諺からインドネシアと日本両国の民族に特有の友情観、愛情観、結婚観を知ることができるのである。

3、日本人とインドネシア人の友情観

人間は一人で孤独に生存することができない。異性を知りたい本能的な欲求のみでなく、誰かに知ってもらいたい、理解されたいという気持ちを持っている。

3、1 友の大切さ

人間は一人で孤独に生存することができないから、人生の中で、友はなければならないほど大切なものであり、次のように表現される。

j.1. 友達 は 第二の我

j.2. 親 ずれ より 友 ずれ

j.3. 遠き 親戚 より 近く の 友

i.1. Uang gampang dicari, sahabat susah di dapat

お金は得易くて友を得難い

日本の諺では、友は、第二の自分とも言えるほど自分のことを理解し、関心を持つという大切な評価があり、自分の親や親戚よりもっと重要な人である。

しかし、インドネシアの諺では、本当の友達を得ることはお金を得るよりもっと難しいから、友達は大切にしなければいけないと教えてくれる。

3、2 敏感な友情

人間は豊かな感情を持っている生物であり、渡される感情と犠牲がもっと大きいなら、もっと敏感になり、もっと心に傷付けられやすい。真の友を見つけ、温め続けた友情でも、時には非常に敏感で壊れやすいようである。

j.4. 友は得難い失い易い

i.2. Luka sembuh bekasnya tinggal juga

傷が治っても傷跡まだ残る

日本の諺では、友情が敏感であるから、気を付けなければならない、小さい誤解でもその友情を壊されるかもしれない。そして、インドネシアの諺では、壊れた友情は、傷付けられる前のように傷が治っても傷跡まだ残り、元のようににはならないことを教えてくれる。

3, 2, 1 敏感な友情に対する心理

真の友情は敏感であり、壊れやすいということを知っているから、友達をつくる時必ずこんな諺を覚えなければならない。

i.3. Giginya dengan lidah ada kalanya bergigit pula

歯と舌もたまに互い咬むこともある

意味：ものすごく仲良しになっても、けんかをするのが必ずある

i.4. Tangan kanan jangan percaya tangan kiri, luka tangan kanan oleh tangan kiri

右の手は左の手を信じるな。右の手は左の手を傷を付けるかもしれない。

インドネシア語の **i.3.** は、真の友情が敏感だから、歯と舌もたまに互い咬むように、けんかとか、誤解とかということが必ずある。だから、あまり気にしないでください。もし、傷をつけられたくないなら、インドネシア語の **i.4.** のように真の友情をつくらないでください。あまり感情と犠牲を渡さなければ、傷を付けられても、痛みはあまり気にしないかもしれない。

今回の日本語の資料には、これらインドネシア語の例と類似の諺は見つけられなかったが、今後更に検討してみる。

3, 3 旧友

友と交わりの期間が長ければ長いほど、互いに理解し、関心を持ち、真の友情を培うことができる。次のように表現される。

j.5. 梅干しと友達は古いほどよい

j.6. 友と酒は古いほどよい

j.7. 竹馬の友

日本語の **j.5.** **j.6.** では、友に対して梅干しと酒で比喻されることが最適なものであり、梅干でも、酒でも古ければ古いほど美味しい。

インドネシア語の資料には、これら日本語の例と類似の諺は見つけられなかったが、逆説的な比喻が見られる。次で示す。

3, 3 浅い友情

どんな国の人でも友達は古いほどよいということに賛成すると思う。深い友情は長い時間で培わなければならないからである。長い時間でお互い理解し、関心を持ち、真の友情

を培うことができる。しかし、深い友情でも時々けんかと誤解のせいで、長い時間で培った友情が浅くなってしまう。その上、人間はわがままな生物であり、新しいものをもらうと古いものを捨てるという性格がある。それに自分の身分と地位が高くなると、昔の友人と恋人をよく忘れてしまう。世の中にこんなことをよく見つける。

i.5. Hati panas lupa kacang akan kulitnya

心が熱くなり、ピーナッツは自分の皮を忘れる

意味：人間がお金持ちになったら、あるいは地位が高くなったら、よく昔の友達を忘れる

i.6. Baru dapat gading berubah

象牙を得てすぐに変わる

意味：人間がお金持ちになったら、あるいは地位が高くなったら、よく昔の友達を忘れる

インドネシアの **i.5. i.6.**では逆説的な比喻を使用する。誰でも以上の諺を見ると、それは最低の人格だと思うからである。それ故に、誰でも新しいものをもらうと古いものを捨てたり、自分の身分や地位が高くなると、昔の友人や恋人をよく忘れてしまい、最低の人間になるという風刺の意味が含まれる。

3、4 偽の友情

この現実的な世界の中に、たくさんの人は自分の利益のために、友をつくり、利用し、犠牲にすることが多いである。次のような友がよく見られる。

i.7. Menohak kawan sendiri

友達を刺す

意味：自分の利益のため、友を裏切る

i.8. Mengunting dalam lipatan

折ったまま切る

意味：自分の利益のため、友を裏切る

i.9. Musuh dalam selimut

毛布の中の敵

意味：裏切る友

i.10. Terkena pada ikan, bersorak, terkena pada batang, masam

魚を釣り上げたら、嬉しい、枝を釣り上げたら、渋い顔をする

意味：自分の利益のため、友達をつくる

i.11. Ada gula ada semut

砂糖があれば、蟻もいっぱい

意味：人間はお金持ちの人達と友達になることが好きだ

インドネシア語の **i.7. i.8.**のように、人間は時々自分の利益のため、友人を欺いたり、だましたり、裏切る。それに、インドネシア語の **i.8. i.9.**のように、友人が「折ったまま」と「毛布の中」で比喻されている。とても仲がいい友人でも、自分の利益や地位のため、時には敵になるかもしれない。そして、インドネシア語の **i.10.**のように、「利用できる友」や「何か利益をあげる友」は「魚」で比喻されている。人間は友達を作る時よく自分の利益の方面から考える。それ故に、**i.11.**にも見られるように、人間は何の利益ももらえない人や貧乏な人と友達になるのがあまり好きではない。

3、5 真の友情

インドネシア語の **i.1.**のように、真の友情を探すのは非常に難しい。しかし、どんな友情が真の友情と言えるか。どんな条件を持たなければならないか。次の諺で説明しよう。

j.8. 肝胆、相照らす

i.12. Bagai api dengan asap

火と煙のようだ

意味：生死をともにできる間柄にある一組の夫婦や親しい友達のたとえ

i.13. Berdiri sama tinggi, duduk sama rendah

立つ時同じ高さ、座る時同じ低さ

i.14. Sekain sebau, selauk senasi

同じ布、同じ服、同じ料理、同じ飯

i.15. Mendapat sama berlabu, merugi sama kehilangan

利潤を得れば一緒に手に入れ、不利になれば一緒に損する

i.16. Ke bukit sama mendaki, ke lurah sama menuruni

山へ一緒に登り、谷へ一緒に下る

i.17. Berat sama dipikul, ringan sama dijinjing

重いものは一緒に担ぎ、軽いものは一緒に持つ

i.18. Ada sama dimakan, tidak ada sama ditahan

あれば一緒に食い、なければ一緒に我慢する

i.19. Laba sama dibagi, rugi sama diterjuni

利潤を得れば同じ割合で分け、不利になれば一緒に負担する

日本語の **j.8.**では、互いに心の奥底まで打ち明けて理解し合い、親しく交わることが肝臓と胆嚢で比喻される。インドネシア語の **i.12.**では、生死をともにできる間柄にある親しい友達について、火と煙で比喻される。さらに、**i.13.~ i.19.**で見られるようにインドネシア語で真の友情についてよく「同じ」、「一緒」という言葉を使用する。つまり、喜びや悲しみ、良いこと悪いことすべてを共有し、分かち合うということを反映する。

3、6 友の感化

人間の生活の中に一番よく接触する人々はやはり家族と友達である。だから人間は互いに一番よく理解し合える仲間に影響され、自然にだんだんその仲間の性格とか、考え方とかに似てくる。たとえば、

j.9. 馬は馬連れ牛は牛連れ

j.10. 同病相あわれむ

j.11. 乞食も友選び

j.12. 友は類を似て集まる

j.13. 知音

j.14. 善悪は友になる

i.20. Bermain-main dengan kerbau, dilontarinya muka dengan ekor

牛と遊ぶと、頭が後ろに向いて、尾だけ向いてくれる

意味：友達とつくる時に、必ず気を付けて、悪い友達と友達をつくれば悪者になるかもしれない

i.21. Berkawan dengan oragn alim menjadi alim, berkawan dengan pencuri menjadi pencuri

賢い人と友達をつくれば賢くなり、泥棒と友達をつくれば泥棒になる

ところが、日本語の **j.9. j.10. j.11. j.12. j.13.**ように、人間はよく好みや趣味などが似てる人と仲良しになりやすい。しかし、日本語の **j.14.**とインドネシア語の **i.20. i.21.**ように、いい友達をつくり、いい人間になり、悪い友達をつくれれば、その悪い慣わしが慣れ、悪い人間になる。だから、友達をつくるときは、必ず気を付けてください。

4、日本人とインドネシア人の愛情観、結婚観

4、1 恋は人間の本然の欲望

人間には、小さい頃自分の心を自分以外の人間を知りたいという、特に異性に興味を持っていて、成長の階段のうちにだんだんその本能的な欲求を悟る。

j.15.いが栗も内から割れる

j.16.豌豆は日陰でもはじける

j.17.陰裏の桃の木も時が来れば花が咲く

j.18.今時の娘は油断がならぬ

j.19.若い者は油断がならぬ

j.20.春の目覚め

i.22.Beban sudah di pintu

重荷もう門の前にある

意味：娘はもう大人になった。だから早く結婚しなければいけない

日本語の **j.15. j.16. j.17.**では、恋は人間の本然の欲望ということがよく見る自然的な景観で比喩される。つまり、人間が恋を悟ることはいわば自然界の草木のように、自然に花が咲き実るように、誰にも禁止できない。

インドネシア語の諺は元々メラユというイスラム教が深い影響を及ぼした地域に由来するから、インドネシア語の中に時々イスラム教の教えも含まれている。イスラム教によると、人は結婚の目的をもって愛する人を求め、好意を持つ。だから、恋愛という意識を持っていない。それ故に、インドネシア語の **i.22.**ように、娘は一旦大人になったら、必ず結婚しなければいけない。

4、2 縁

この広い世の中に男と女のめぐり合い、結びつきというものは、すべてこの世の中の不思議なことである。

j.21.合縁奇縁

j.22.縁は異なるもの、味なもの

j.23.夫婦は二世

i.23.Garam di laut, asam di gunung, bertemu dalam belaga

海の塩と山のすっぱいものは鍋の中で出会う

意味：お互いに距離が遠い所がいても、縁があればきっと出会う

i.24.Kumbang tiada seekor, bunga tiada sekaki

蜂は一匹に限らない、花は一輪に限らない

日本語の **j.21. j.22.**では、人と人とのつづきあいということは、「縁」という言葉で説明する。「縁」は元々仏教の教えであり、つまり、ある原因、ある条件からある結果を生じる外的条件である⁴。だから、日本語の **j.23.**のように「世」という言葉を使用し、即ち「前世」、「現世」、「後世」ということでの原因のせいにして説明しようとしている。しかし、インドネシア語の諺は元々メラユというイスラム教が深い影響された所に由来したから、インドネシア語の中に時々イスラム教の教えも含まれている。イスラム教によると、人間は死んだ後で、各々自分の行いに応じて裁かれ、もう一回輪廻転生ということができない。だから、インドネシア人にとって、人と人との付き合うことは「縁」という言葉で説明するより「定め」と「運命」という言葉で説明するほうが最適である。それに、神様は最初の人間アダムを作った時、アダムに相応しい助け手エバを与えた。だから、インドネシア語の **i.24.**のように、インドネシア人は、神様はどんな生き物でも相応しい助け手を準備したということを信じている。

4, 3 恋に対する心理

人を愛する時、どんな心理を持っているか。次の諺で示す

j.24.愛は小出しにせよ

i.25.Karena tak kenal maka tak sayang

知らないから、かわいがらない

日本語の **j.24.**では、人を愛するのは、少しずつ長く続けるのがよい。インドネシア語の **i.25.**では、相手のことをもっと理解すれば、与える愛はもっと強い。逆に相手のことはあまり分からないなら、あまりかわいがることができない。

4, 4 恋愛と結婚対象の要求

人間が自分の心を探す時は、どんな心理と要求を持っているか、次の諺で表現される。

j.25.男の目には糸を張れ

j.26.女の目には鈴を張れ

j.27.茄子と男は黒いがよい

j.28.米の飯は白いほどよい

j.29.白いは七難隠す

j.30.一押し二金三男

j.31.一見栄二男三金四芸五声六おぼこ七台詞八力九肝十評判

i.26.Dimana bunga kembang, disitu kumbang banyak

花が開く所に、蜂がいっぱい

意味：美人がいる所に、男の子もいっぱいいる

i.27.Jatuh ke atas kasur

ベットへ落ちる

意味：お金持ちの女と結婚すれば幸せになる

日本語の **j.25. j.26.**では、男の目はまっすぐにきりっとしているのが好ましく、女の目はぱっちりと円く開いているのが愛嬌があってよいのである。また、日本語の **j.27. j.28. j.29.**のように、男は色黒いのが良く、頑健そうであり、よく真面目に働いて日に焼けた証明である。女は色白いなら、清くてきれいに見える。だから、昔から美白のための化粧品はずっと人気がある。それに、日本語の **j.30. j.31.**では、女を口説くのに一番必要な条件は押しが強いことと見栄であり、次はお金と男前ということである。以上の三つの条件を持っている男はいい恋人と結婚対象を探しやすい。しかし、時々押しの度が過ぎて、女の子が怖く感じて、ストーカーや痴漢と誤解されるかもしれない。

インドネシア語の諺では、女の子 **i.26.**のように、美人の方が男は好きである。どの国でも、美人がよく男達を群がらせている。それに、お金持ちの女の子も人気がある。なぜなら、この物質的世界で、お金も人間の生活の中に非常に重要な部分になるからである。つまり、人間がお金無しで暮らすことは殆ど無理である。それ故に、人間は最初の理想的な夢からどんどん現実的な目標になる。しかし、現実的な目標を達することもあまり簡単なことではない。だから、インドネシア語の **i.27.**ように、お金持ちの女と結婚すると、妻のお金の力に援助してもらい、目標に達することがもっと簡単になる。

4, 5 恋心

人間は深い情感を持っている生き物である。人間は恋に対してよく理性をおかしやすくなり、恋のために他人が常識や普通の考えで理解できないことをやることも多い。

j.32.恋の闇

j.33.愛は盲目

j.34.恋は曲者

j.35.恋は思案の外

j.36.四百四病の外

j.37.お医者様でも草津の湯でも惚れた病は治りやせぬ

j.38.惚れた病に薬なし

j.39.痘痕もえくぼ

j.40.惚れた欲目

j.41.恋に上下の隔てなし

j.42.千里も一里

j.43.恋の重荷

j.44.恋の奴

i.28.Cinta itu buta

愛は盲目

日本語の **j.32. j.33. j.34. j.35. j.36. j.37. j.38.**では、恋のため理性を失い、恋のとりこになった人は常識ではとても考えられない、とんでもないことをし、薬や温泉でも治せない。それに、日本語の **j.39. j.40. j.41.**ように、惚れた欲目でみると、相手は完璧な人間に見えたり、たまに相手の欠点でも長所に見え、時には、両方の身分の上下による分け隔てなどまったくなくない。だから、恋しい人のためには何をして、どんなに苦勞をして、まったく苦にならない、いわば「惚れて通えば千里も一里、会わずもどればまた千里」⁵。ただ、恋のため理性を失い、どんなに苦勞をして、まったく苦にならないけれど、実は人間が恋に仕え、日本語の **j.43. j.44.**ように、心身的に大きい圧力を感じ、自身の自由を失うこともよくある。

インドネシア語の諺にも **i.28.**のように、恋は盲目ということが見つけられる。しかし、インドネシア人は「恋は盲目」と「恋に上下の隔てなし」ということを納得するけれど、嫁を探す時、上下の隔てなしということはできない。なぜなら、350年ぐらいオランダが植民地にし、社会の階級制度を定め、今その階級制度はすでに廃止したけれど、その意識がまだ残っているからである。だから、インドネシア語の諺の中に、こんな諺を見つける。

i.29.Pandang anak, pandang menantu

息子を覗き、お嫁を覗き

意味：息子の地位や財産に相応しいお嫁を探しなければならない

4、6 結婚対象をよく選ぶ結果

この世に、三つ飽くことを知らないものがある。「もう十分だ」と言わないよみと、「もう十分だ」と言わない火と、人間の目である。この人間の目が結婚対象を選ぶ時、相手のことについて満足できなかつたら、どんな結果が起こるか。次の諺で説明する。

j.45.選んで滓を掴む

i.30.Banyak dipilih dapat buku

よく選べば本をもらう

意味：よく自分の結婚対象を選び、最後にあまり良くない女と結婚する

日本語の諺「欲の袋に底無し」のように、自分の結婚対象に対しても同じ心理を持っている。いい条件を持っている人は、いい恋人と結婚対象を探しやすいだけけど、満足しなくて、今の恋人や結婚対象よりもっといい人が欲しい。結局、あまり良くない人と結婚してしまう。たぶん、これは人間「よく新鮮な野菜と肉を食べると、時々滓を味わいたい」の心理かもしれない。それに、世の中に「完全無欠」な人間がいないということを覚えておかなければならない、いい恋人と結婚対象があれば、必ず惜しんで下さい。

4、7 妻の重要性

日本語の諺「男は外を治め女は内を治む」のように、家の栄えるのも衰えるのも、半ばは妻の働きによって決まる。次の諺で示す。

j.46.女房は半身上

j.47.女房は家の大黒柱

j.48.一生の得はよい女房を持った人

j.49.悪妻は六十年の不作

j.50.悪妻は百年の不作

j.51.悪妻は一生の不作

日本語の **j.46. j.47. j.48.**のように、妻は家で重要な位置を占めていることであり、妻のよしあしは、夫の一生の幸と不幸を左右する。もし悪い妻を持ったら、日本語の **j.49. j.50. j.51.**のように、生涯の災難となる。

インドネシア語の資料には、これら日本語の例と類似の諺は見つけられなかった。しかし、インドネシア人は、あらゆる成功した男の背後に必ず一人女がい、失敗した男の背後にも必ず一人女がいるということを納得する。つまり男の成功と失敗は必ず一人女に影響される。

4, 8 夫婦の喧嘩

夫婦はたまに喧嘩することがあり、次の諺で説明する。

j.52.夫婦の喧嘩は寝て直る

j.53.西風と夫婦喧嘩は夕限り

j.54.夫婦喧嘩も無いからおきる

j.55.夫婦喧嘩は貧乏の種蒔

i.31. *Seperti senduk dengan periuk, sentuh menyentuh*

フォークと釜のように、互い摩擦する

意味：どんな家庭でも、夫婦のけんかすることが必ずある

夫婦の喧嘩は、日本語の **j.52. j.53.** ように、一時だけでおわるのが常である。それに、夫婦喧嘩もたいてい日本語の **j.54.** ように、取るに足らないことが原因で起こる。だから、インドネシア語の **i.31.** のように、平常心を持ち、問題を解決した方がいいと教えている。逆に、親しくて遠慮がないあまりに喧嘩したら、互いに傷を付け、日本語の **j.55.** のように、家運が傾く結果となり、時に離別ということにもなる。やはり、人間の恋路は「落花枝に返らず、破鏡再び照らさず」⁶ である。

4, 9 夫婦の結びつき

二人の人間一旦夫婦になったら、身も心も一つになるのが普通である。つまり、生涯離れないという望みということである。

j.56.夫婦は一心同体

j.57.お前百までわしゃ九十九まで

i.32. *Bagai api dengan asap*

火と煙のようだ

意味：生死をともにできる間柄にある一組の夫婦や親しい友達のたとえ

i.33. *Bagai empedu lekat di hati*

肝は胆とつながっている

i.34.Hitam mata tak akan bercerai dengan mata

瞳はいつでも目と離れない

i.35.la belahan nyawaku

彼は我が魂の半分

i.36.Jauh di mata dekat di hati

目では遠くとも、心では近い

日本語の **j.56. j.57.**ように、夫婦は身も心も一つになり、仲良くともに長生きして暮らし、できれば死ぬ時も一緒と望む。

インドネシア語の **i.32. i.33. i.34. i.35.**では、夫婦の結びつきに対して「火と煙」、「肝臓と胆嚢」、「瞳と目」、「魂の半分」で比喻されていることは最適なものと考えられる。「火」が燃えるときいつも「煙」が出るし、「肝臓と胆嚢」、「瞳と目」、「魂の半分」は一旦互いに離れたら、元々の機能はもう使用できない。それに、インドネシア語の **i.36.**ように、たとえお互いに離れた場所にいても、心はいつも一つ所にある。

5、 考え方の特徴

以上、諺に見られる日本とインドネシアの両民族の考え方をいくつかのパタンにわけて検討した。一般的には、内容的に類似した諺がよく見られた。また、今回の資料では、両国の諺の間に内容的な相違点も指摘できる。

5, 1 友情観に関する考え方の特徴

5, 1, 1 友情観の類似点

- ①「友の大切さ」に関しては両語の諺ともに同様な考え方が見られる。(3, 1)
- ② 真の友情は敏感ということは、両語の諺ともに同様の考え方が見付けられる。(3, 2)
- ③ 友の影響力に関しては、両語の諺ともに同様の考え方が見られる。(3, 6)
- ④ 喜びや悲しみ、良いこと悪いことすべてを共有し、分かち合うという「真の友情」の性質に関しては、両語の諺ともに同様の考え方が見られる。(3, 7)

5, 1, 2 友情観の相違点

- ① 友の感性に関しては、両語の諺ともに同様の考え方が見られるけれど、その敏感な友情に対しての心理は、日本語の諺には見付けられなかった。（3， 2， 1）
- ② 友と交わりの期間が長ければ長いほど、互いに理解し、関心を持ち培養される友情は、日本語の諺には表現されているが（3， 3）、インドネシア語の諺には、昔より立派な友達をつくると、旧友を忘れるという諺が見付けられる。（3， 4）
- ③ 自分の利益のため、友をつくり、利用するなどと、インドネシア語の諺にのみ見られる。（3， 5）

5， 2 愛情観と結婚観に関する考え方の特徴

5， 2， 1 愛情観と結婚観の類似点

- ① 恋に対する心理に関しては、両語の諺ともに類似の考え方が見られる。（4， 3）
- ② 恋は盲目と恋に上下の隔てなしということは、両語の諺ともに類似の考え方が見られる。（4， 5）
- ③ 両語の諺の間にも、結婚対象をよく選ぶなら、必ずあまり良くない人と結婚するという忠告が見付けられる。（4， 6）
- ④ 夫妻の結びつきに関しては、両語の諺ともに生涯離れないという類似の望みが見付けられる。（4， 9）

5， 2， 2 愛情観と結婚観の相違点

- ① 恋は人間の本来の欲望ということが日本語の諺には表現されるが、インドネシア語では、イスラム教の教えに影響されて、人は結婚の目的をもって愛する人を求め、好意を持つ。だから、恋愛という意識を持っていない。（4， 1）
- ② 日本語の諺は仏教の教えに影響されて、日本人は現世の縁は前世の残った因果ということを感じる。しかし、インドネシア語の諺はイスラム教の教えに影響されて、男と女のめぐり合い、結びつきということは神様が決めたことである。つまり「定め」と「運命」ということである。（4， 2）
- ③ 恋愛と結婚対象の要求に関しては、両語の諺の間に、類似点が見られるが、相違点もある。美人と男前の性質と、女を口説くのに必要な条件は、日本語の諺にのみ見られる。それに、両語の諺の間にも、男は美人が好きだけれど、インドネシア人の男はお金持ちの女と結婚すれば幸せになるという考えが見られる。（4， 5）
- ④ インドネシア人は恋は盲目と恋に上下の隔てなしという考えに同意するが、結婚する時、社会的な階級の意識をまだ持っている。（4， 5）

- ⑤ 妻は家で重要な位置を占めており、妻のよしあしが、夫の一生の幸と不幸を左右することは、インドネシア語の諺には見付けられなかった。（４， ７）
- ⑥ 夫妻の喧嘩に関しては、両語の諺ともに類似の考え方が見付けられるが、夫妻の喧嘩の原因と喧嘩した後の結果は、日本語の諺にのみ見られる。（４， ８）

5, 3 友情観、愛情観、結婚観に関する諺の数量

諺は、元々各民族の人々の経験、民族の歴史、地理環境、生産活動および人々の生活習慣、思考の方式などによって作り出されたものであり、その民族の特性、文化の特色も諺に反映している。それに、あることに関する諺の数量は、その民族がそのことに関して、いかに深く重視しているかを反映している。そこで、次のようにそれらの素材が使用されている諺の数量を表にして示す。

	友情観	愛情観と結婚観
日本語	1 4	4 3
インドネシア語	2 1	1 5

以上の表から見ると、日本人は愛情と結婚を友情より大切にしている。原因は、日本は中国唐朝時代に、よく中国と経済的、文化的に接触した。日本もその時から、奴隷制度を廃止し、封建主義を始める。その時、中国儒家思想も他の文化と共に日本の社会に浸入した。中国儒家思想の教えで、最も主要なのは「忠」と「孝」である。日本人の目に、家庭は社会を構成する基本的な単位であり、社会の形を保つ非常に必要な根基である。だから、日本人は家庭を非常に重視する。しかし、その時、中国儒家思想で男女の愛についてまだ多くの教えがなかった。だが、明治維新から、日本人の愛情観は、西方キリスト教思想、つまり神様の前では男女平等でお互いに愛し、尊重するという教えの衝撃を受け取り始めると、日本人の愛情観が変わってきて、家庭を大切にする文化と共に男女の愛を重視するようになった。

しかし、インドネシア人は日本と逆になり、愛情と結婚より友情をもっと大切にする。なぜなら、インドネシアの習慣や伝統の基本理念として Gotong Royong（ゴトンロヨン）、つまり相互扶助という言葉があり、Gotong Royong は昔からインドネシア人の生活基盤となっているからである。その習慣や伝統の基本理念に影響されたから、インドネシア人は団結と友情をととても重視する。それに、インドネシアの諺は、イスラム教の教えに深く影響されたから、女の子の恋愛の意識を表現していない。それ故に、愛情観と結婚観に関する諺が友情観に関する諺より少ない。

おわりに

以上、諺の世界で日本人とインドネシア人の「友情」、「愛情」、「結婚」に関する諺を対照比較してみたが、諺に見られる両国の民族の考え方に関しては、類似点が見られる。例えば、友情に関しては、「真の友情は敏感」について、

j.4. 友は得難い失い易い

i.2. Luka sembuh bekasnya tinggal juga

傷が治っても傷跡まだ残る

などと言う。そして、愛情と結婚に関しては、両語の諺も結婚対象を選びすぎるなら、必ずあまり良くない人と結婚するという忠告が見付けられる。

j.45. 選んで淬を掴む

i.30. Banyak dipilih dapat buku

よく選べば本をもらう

意味：よく自分の結婚対象を選び、最後にあまり良くない女と結婚する

その他に、「真の友情の性質」、「友の影響力」、「恋に対する心理」、「恋は盲目」や「夫妻の結びつきの望み」に類似点も見られる。

しかし、多くの場合、同様な考え方を表しているのに、諺に使われた比喻表現から見ると、両国の民族の文化や価値観の相違が見られる。例えば、友の「大切さ」について、両語の諺の間に、類似点が見られるが、表現の仕方、即ち考え方は、インドネシア語の方が「友の大切さ」に対して、お金で比較している。こんな物質的な比較から見ると、インドネシア人は日本人より物質主義者と言える。

また、日本語の諺では、深い仏教の思想と中国儒家思想が影響している。例えば、「縁は異なもの、味なもの」や「夫婦は二世」などという諺が見付けられる。インドネシア語の諺では、深いイスラム教の教えに影響されたから、愛情観と結婚観に関する諺が少ない。

注

1 石田博(1975)、p 1

2 金子武雄(1983)、巻頭

3 M. Syamsul Hidayat, S. Pd. (2004)、p 2. 訳は筆者

4 広辞苑 第五版

5 故事ことわざ辞典

6 故事ことわざ辞典

参考文献

- 石田博(1627)：『故事成語ことわざ事典』、雄山閣
- 伊東俊太郎(1976)：『講座・比較文化 第七巻 日本人の価値観』、研究社
- 岩波書店辞典編集部編集(2004)：『ことわざの知恵』、岩波書店
- 岩波書店(1998)：『広辞苑 第五版』、岩波書店
- 浮田三郎(1987)：「日本語とビルマ語の諺対照比較研究(2)¹⁾－日本語・日本文化教育のための教材基礎研究－」、『広島大学教育学部紀要』、第二部、第36号
- 浮田三郎(1989)：「日本語とギリシア語の諺対照比較研究(2)－素材「女」の見られる諺を中心に－」、『広島大学教育学部紀要』、第二部、第37号、別刷
- 浮田三郎(2002)：「日本語と現代ギリシア語における「友」に関する諺対照研究」、『古浦敏先先生御退官記念 言語学論集』、溪水社、p. 121－136.
- 金子武雄(1983)：『日本のことわざ(三) 評論』、海燕書店
- 学研(1998)：『故事ことわざ辞典』、学研
- 左藤正範、エディ・プリヨン(1999)：『インドネシア語ことわざ用法辞典』、大学書材
- 鈴木棠三、広田栄太郎(1956)：『故事ことわざ辞典』、東京堂
- 谷沢永一(1999)：『日本の知恵を知る故事ことわざ』、講談社
- Dr. Muhammad Hamidullah(2000)： *Introduction to Islam*, Da' wah Academy, International Islamic University
- M. Syamsul Hidayat, S. Pd. (2004)： *Bunga Rampai Peribahasa & Pantun*, Apollo